

まちづくり地区懇談会（下古田区）会議録

地区名：下古田区

日時：平成28年10月28日（金）19：00～20：30

会場：下古田公民館

町参加者：町長・副町長・柴建設課長・今井担当課長・鈴木係長・荻原

参加人数：22人（男性20人：女性2人）※町・主催者、報道機関を除く

報道機関：－

主な発言：※要約・箇条書きにて記録

参加者

西県道の整備状況についての現状を教えてください。

建設課長

県建設事務所へ町から要望をしている。下古田から西小学校にかけての歩道の整備を重点箇所としている。昨年度から、用地整備を進めており、今年度の11月に説明会を開催し、用地取得ののち、工事に着手していきたい。勾配がありかつカーブになっていて見えにくい西側に主に歩道を設置していく予定。

参加者

（関連して）カーブのところに花桃が植えてあり、見えにくくなっている。花桃のように大木にならないような木の方がいいのではないか。

建設課長

上古田を中心とした花桃の会の皆さんと調整をしていく必要があると思うが、実際に工事が始まった際には、見えにくいところは、花桃の本数を少なくしたりなどの移設も必要だと考えている。

参加者

国勢調査の結果がでたが、最新の区の結果を教えてください。

副町長

高齢化率は37%で町の中で一番高くなっている。（町の平均は28%）

参加者

南箕輪の人口が増えている理由を調べて、町と比較しているか。

町長

- ①伊那市の隣ということもあり、人口が減る地区が少ない。
- ②基本的に南箕輪は同じ地形の場所が多く、平らで、（箕輪町に比べて）地価が安いので、新築を考えている若者世帯は、南箕輪を選んでしまう。また、農業地に指定されていない場所が南箕輪には残っていることも大きい理由。
- ③南箕輪は住みやすい、教育がよいなど、イメージ戦略が先行して行われている。

行政施策全体を見れば、箕輪町の方が先行していると考えているが、公共料金を比べる

と若干の差がある。これについては、統一することは難しいが、なるべく差を縮めていきたい。移住定住の施策については、いずれ南箕輪も実施するだろうから、先行して対策を進める必要がある。

参加者

小さい区であり、予算も限られている。区会議員の方は毎週のように休日も作業を行ってくれている。小さい地区には、特例的な補助をしていただくことはできないか。

副町長

区費など、人数が多い区の方が（1人あたりの）負担が少なくすむということはある。活性化交付金の中で、道水路の負担金や水路の改修など実施はしているがまだまだ不十分だとは思っている。また、必要な箇所については要望をいただいた中で全体的に見て、検討をしていきたい。

参加者

ソーラーパネルの設置についてはどう考えているか。

町長

国の政策でもあるため、最初からダメだと否定することはできない。また、土地の有効利用として、農家の皆さんが自分の農地を利用して収益につなげることもできるため、全面的に否定することは難しい。ただし、箕輪町には素晴らしい景観もあり、景観条例もできたので、景観に影響があるものは考えて頂きたい。

建設課長

景観条例を今年の7月から施行していて、届け出が必要となっている。段丘林などの景観が良い場所については、設置ができないようになっている。

参加者

景観条例は罰則が弱く、効力が弱いのでは。また、周りの了解をとることが必要ではないのか。

建設課長

周りの了解をとることが必要になっている。ただし、個人の持ち物なので、罰則や規則で設置を止めることは難しい。

参加者

区の将来像を作成したが、今後の展開はどうなるのか。また、町の補助はあるのか。

町長

町としても、個別の事業は入れていないので、今後政策の中に入れていきたいが、区の将来像を具体化するために区としても取り組みをしてほしい。

参加者

区の補助金や制度などの情報を町から提供してほしい。また、補助金などの申請や実績報告に関する事務処理のサポートをお願いしたい。

町長

地域スタッフのような、各地域をよく知った職員を常時派遣できれば良いのだが、なかなか難しい。行政にすべておんぶにだっこの状態では、今後は厳しくなるので行政と地域で協力してやっていけるようお願いしたい。

参加者

平成 18 年の災害の際に、治山堰堤を設置したが堰堤の周りが崩れてしまい、車で入れなくなっている。

参加者

町内一周駅伝の時期を別にできないか。9月23日（祝）だと、中高生が学校の新人戦と重なって出られないことがある。

町長

現場の確認や、運営委員会等での検討材料とさせていただく。